

# 話題

## 街にひろう

### 地産の味を堪能したよ

6月25日、市内の各小中学校で「学校給食「牛久の日」が実施され、子どもたちが地元の味を楽しみました。

この「牛久の日」は、「食を通じて農業を知ろう」という教育の一環で、地産地消および食育を推進することを目的としています。平成18年度から始まり、年3回実施されてきているこの取り組みも今年で5年目を迎えました。この日は、ご飯、豚肉のしょうが焼き、キャベツの浅漬け、うしく河童西瓜、みそ汁、牛乳といった献立で、牛乳を除くすべての食材が牛久産に限定され、約7000食が提供されました。

牛久小学校では、スイカの生産者などが招待され、子どもたち



「甘い!」と大好評の「うしく河童西瓜」

と一緒に給食を食べました。子どもたちから、「食べ物をつくるときに大変なことは何ですか」、「うれしいなと思うときはどんなときですか」などさまざまな質問が出て、生産者からは「高齢なので出荷のときが大変です」、「うれしいときは皆さんに美味しいと食べてもらうときです」などと答えていました。スイカを食べた5年生の横山大雅さんは、「スイカは甘くてみずみずしくて、とてもおいしい」と笑顔で話していました。

給食終了後には、児童の栗原

菜々瀬さんが「これからも感謝して食べたい。野菜やお肉がとてもおいしかったです」、市原美里さんが「給食や普段の食事を残さないようにしたいです」と生産者に感謝の気持ちを伝えました。

### おいしいトウモロコシがとれたよ



皮をむく手つきもお手のもの!

7月16日、遠山町の農場でつばめ保育園の園児たち17人が、4月に自分たちで種をまいて大きく育ったトウモロコシを収穫しました。今回の収穫は市内若手農業者グループ「UFOクラブ」が農業と食物の大切さを園児に伝えるために企画したものです。

トウモロコシを収穫するのに少し苦労しながらも、園児たちは「とれた!」とはしゃぎながら、ぎつしりと実の詰まったトウモロコシを一つひとつ収穫しました。

収穫したトウモロコシは、保育園に戻ってすぐに皮をむき、大きな鍋でゆでて、UFOクラブのメンバーと園児たちでおいしく食べました。

### 小菊の目揃会 めぞろえかい

6月24日、JA竜ヶ崎市牛久支店で小菊目揃会が行われました。

JA竜ヶ崎市花き園芸部会伊宝正雄会長は、牛久、竜ヶ崎市の会員合わせて28人で構成されています。小菊目揃会は、品質の統一を図る目的で研修を兼ねて行われています。小菊は毎年出荷数量を伸ばし、平成21年度は211万本を出荷、7500万円を売り上げ、県内第4位の生産実績をあげています。

同部会の伊宝会長は、「今年は天候に恵まれず、生育に苦労しています。また、害虫のアザミウマが大発生しているので、気を引き締めて、より良いものを提供していきたい」と話していました。



真剣に小菊を見分ける生産者たち

## 廃食用油のBDF化に関する協定

6月28日、「牛久市バイオマスタウン構想」に基づき推進している廃食用油のバイオディーゼル燃料（BDF）化事業で、市と阿見町が協定書を取り交わしました。

これにより、7月1日から阿見町学校給食事業で排出される廃食用油が回収され、出来あがったBDFが阿見町の保育所送迎バスで使用されることになりました。

2つの自治体が連携してBDF事業の展開を図ることは県内でも例がなく、「牛久市バイオマスタウン構想」が、より広い地域で循環型の社会づくりに向けての第一歩を踏み出しました。



協定書を取り交わした池辺勝幸市長(写真左)と阿見町の天田富司男町長(同右)

## 常陸太田市で宿泊学習



薪に火をともしでのキャンプファイヤー

6月16日と17日の2日間、ひたち野うしく小学校の5年生が、姉妹都市・常陸太田市にある西山研修所で宿泊学習を行いました。同研修所は自然豊かな環境の中であり、児童たちは新鮮な気持ちで宿泊学習を楽しみました。

一日目は、北茨城市の天津港でシラス漁を体験。夕方には西山研修所に戻り、キャンプファイヤーやナイトハイキングを楽しみました。

今回は、市内小中学校で初めての同研修所での体験学習ということで、児童には池辺勝幸市長からの親書を常陸太田市の大久保太一市長に届けるという大役がありました。

した。親書は、キャンプファイヤーを行う前に全員で、大久保市長に渡しました。親書を受け取った大久保市長は、「これからも牛久市と常陸太田市が仲良く交流が図れるよう取り組んでいきましょう」とあいさつし、キャンプファイヤーでは、児童と一緒に「音頭やマイムマイムを踊りました。」

## 巡回ラジオ体操に備えて！

6月20日、牛久運動公園メインアリーナで、「ラジオ体操認定講習会」が行われました。

この講習会は、8月15日(日)に牛久運動公園で行われる予定の「NHK夏期巡回ラジオ体操」に合わせて行われたもので、会場には子どもから高齢者まで385人が



講師の動きに合わせて体操をする参加者たち



一つひとつの動作をしっかりと確認

集まりました。

講師としてNHKラジオ体操指導者の西川佳克先生をお招きし、ラジオ体操の歴史や沿革の説明のあと、元気に分かりやすい実技指導が行われました。西川先生からアドバイスを受けながら、参加者は音楽に合わせて一つひとつ動作を確認しました。先生の厳しく、ユーモアを交えた指導に、参加者は楽しく真剣に体操のポイントを学びました。参加者からは「ラジオ体操もきちんと意識して動作をすると、結構疲れる。今までいい」という声がかれました。

最後に受講者にはラジオ体操指導者の認定証書が手渡され、皆さん笑顔で受け取りました。

## 2年に一度の全国公募展

### ビエンナーレうしく

6月27日から7月9日にかけて、市中央生涯学習センターで「ビエンナーレうしく」第3回全国公募絵画展2010が開催され、多くの方々が市内外から鑑賞に訪れました。

「2年に一度」という意味があります。今回は全国45都道府県から1036点もの応募があり、そのうち118点が入選し、その中から厳しい審査を経て5点が入賞しました。

今回のテーマは「か・か・わ・り」。6月26日には、一般公開に先立ち、内覧式・表彰式が行われました。5人の審査委員の先生、受賞者、



審査委員からアドバイスを受ける入賞者たち

来場者の方々が今回の作品の制作について、熱心に会話を交わしながら会場内を鑑賞して回りました。

大賞は、上野の不忍池の柳を描いた作品「彼方」(左写真参照)を描いた、埼玉県蕨市在住の藤井誠さんが受賞。藤井さんは「正直びっくりしている。自分が美しいと思うものを描いているので、それが評価されてうれしいです」と受賞の喜びを語りました。

平成18年に、芸術文化を振興し、多くの人が訪れる特色のあるまちづくりを推進する目的で始まったこの公募展も今回で3回目。すっかり地元根付いてきました。



大賞受賞の藤井さんと受賞作品「彼方」

## フレッシュユライブワークショップ



夏井さん(写真右から2人目)の指導を受ける学生たち

8月8日(日)に市中央生涯学習センター文化ホールで行われる「フレッシュユライブ2010」に向けて、7月4日、市中央生涯学習センター大講座室でワークショップが行われました。

今回は、アマチュアのインディーズバンドの夏井悠さんたちが、フレッシュユライブに参加する市内在住・在学の高校生に演奏のコツや歌い方の指導を行いました。学生たちは、楽しい雰囲気の中でも、夏井さんたちのアドバイスを真剣に聞いていました。

## 芋銭図書寄贈に感謝状

6月21日、小川芋銭研究センターに、かつて小川芋銭の蔵書であり、中国の各時代の絵を収めた貴重な画集『宋元明清名畫大観』を寄贈していただいた、石岡市在住の画家小林恒岳さんに市から感謝状をお渡ししました。

この画集は、芋銭の妻こう氏より、芋銭の形見分けとして芋銭と親交があった恒岳氏の父小林巢居人氏に届けたものです。このたび、「芋銭研究のために牛久に戻したほうが良い」と寄贈されました。この画集からは、昭和11年ごろの芋銭作品「採蕪」が画集中の中国宋代の趙令穰作品「湖莊清夏図巻」の影響を受けていることが確認されています。



寄贈をされた小林ご夫妻(写真右が恒岳さん)

## 文化運動広場が天然芝生化

7月4日、文化運動広場で天然芝グラウンドオープン記念式典が開かれました。この式典は、同広場のグラウンドが全面天然芝生化したことを記念するもので、池辺勝幸市長をはじめ、牛久市スポーツ少年団、体協グラウンドゴルフなど多くの関係団体が出席しました。



ボール回しやパスなどさまざまな練習を体験

池辺市長は「サッカーとグラウンドゴルフが一緒にできる場所になりました。世代を超えて、皆さんで仲良く使ってください」とあいさつ。小学生を代表して6年生の岩槻友祐さんがお礼の言葉を



グラウンドゴルフを楽しむ参加者

述べて、サッカーのキックオフとグラウンドゴルフの始打式などが行われました。

式典後は、クーバーコーチングスクールの指導者によるサッカー教室やグラウンドゴルフ親善大会が催されました。

児童たちは、いくつかのチームに分かれてコーチからアドバイスを受けながら、ボール回しやディフェンスなどの練習を行いました。

練習に参加した小学5年生の阿久津裕亮さんは「グラウンドが芝なので転んでも痛くないし、けがをしにくそう」、大木一輝さんは「芝は爽やかで気持ちが良い」と話していました。

## 第6回子どもスポーツチャンピオンフェスティバル ドッジボール大会結果



優勝した刈谷子ども会のメンバー

順位	チーム名
優勝	刈谷子ども会(牛久小)
準優勝	ダブルキャッチャーズ(神谷小)
第3位	北部ヴィクトリーズ(ひたち野うしく小) 竹の台アタッカーズ(中根小)

<6月12日(土)、牛久運動公園体育館>

## 平成22年度春季チーム対抗市民卓球大会結果報告

部門	順位	チーム名(メンバー)
1部	優勝	牛久卓友A (岩田・西倉・石添・石添・大野)
	準優勝	牛久SCA (榊田・竹村・植原・上杉・沼田)
	第3位	牛久卓友B (村山・伊藤・長塚・石添・石添) 佐貫(赤) (佐藤・小島・河本・池田・熊倉・渡辺)
2部	優勝	牛久SCB (佐々木・石井・滝田・菅原・白井)
	準優勝	牛久SCC (久保山・山田・藤田・原澤・芳賀・山田)
	第3位	常総B (御子柴・吉原・原田・田中・田中) 卓友C (相良・岩本・柏倉・村山・長沢・原口)

<5月30日(日)、牛久運動公園体育館、138人参加>

(敬称略)

## インターハイなどに出場

7月7日、牛久高等学校の生徒がインターハイ、関東大会などに出場が決定したことを報告するため、市役所を訪問しました。

今回、8月に沖縄県で行われるインターハイに出場が決まったのは、同高校卓球部3年生の萩谷好宣さん、坪松青さん。国体関東ブロック大会には2年生の橋本賢さん。また、柔道部2年生の酒井瞳さんは関東大会へ出場します。池辺勝幸市長が「スポーツはかけがえのないものが得られます。皆さん頑張ってください」と激励すると、生徒の皆さんは「はい」と力強く答えていました。



インターハイ・関東大会などに出場する生徒たち

## 2人の隊員が国際貢献へ出発



海外で活動中の鈴木さん(写真左)と佐藤さん(同右)

6月17日、6月からJICA青年海外協力隊として、国際貢献活動をする、市内に在住の鈴木聡志さんと佐藤啓太郎さん2人の若者が、野口副市長を訪問しました。

2人はそれぞれ、エチオピアとトンガに派遣されるのに先立ち、鈴木さんは「海外はほぼ初めてです。ずっと陸上競技をしてきたので、現地で駅伝大会を開きたい」、佐藤さんは「現地に行って教えるだけでなく、一緒に教わる気持ちで2年間頑張りたい」と抱負を語っていました。

## ちょっと休憩

ぶれいく

このコーナーでは、市民の皆さんから寄せられたイラストや俳句、川柳などを紹介しています。なお、お便りには住所と氏名、電話番号を記入してください。また、匿名希望の方は、その旨記入してください。ペンネームもOKです。  
あて先：〒300-1292牛久市中央3-15-1

「広報うしくちょっと休憩」係

Eメール [shimin@city.ushiku.ibaraki.jp](mailto:shimin@city.ushiku.ibaraki.jp)



## 皆さんのお便りから

### 短歌・俳句・山柳コーナー

ゆりの香に行きつ戻りつ蝶の舞

小坂町 飯塚さん

夏帽子年かさね鍔広くなり

栄町 増田さん

妹の母によくにた顔のしわ

刈谷町 小山さん

托鉢の皿洗い心も洗いつつ

女化町 砂押さん

雌キジが豆の葉食べて空坊主

ペンネーム さくら貝さん

哀れなり生れ来たりて乳を飲む

「口蹄疫」ゆえはて逝く仔牛

岡見町 根本良子さん

紺青の光と風の丘に来て

風が運びし友呼ぶ声を

桂町 木村さん

古里の友との出逢ひ懐かしく

時計よ止まれつきぬ思ひを

下根町 藤田さん



南・犬塚さん